

- 平成30年7月豪雨により堤防が決壊した高梁川水系小田川や、県内各地において水害や土砂災害による大規模な被害が発生した広島県等において、被災要因の分析や今後の対策のあり方、復旧工法の検討を行う委員会等が設置され、国総研職員が河川やダムの専門家としてこれらの委員会等に参画。

## <主な委員会等>

### ○小田川堤防調査委員会(中国地方整備局)

目的:高梁川水系小田川(岡山県倉敷市真備町)で発生した堤防の決壊に対して、被災要因分析を行い、堤防復旧工法等を検討  
委員(国総研):河川研究室長

### ○平成30年7月豪雨災害を踏まえた今後の水害・土砂災害対策のあり方検討会(広島県)

目的:平成30年7月豪雨により、水害・土砂災害が多く発生したことから、その発生要因等を分析し、当面の対策及び中・長期的な対策について検討

委員(国総研):河川研究室長、水循環研究室長

### ○神通川堤防調査委員会(北陸地方整備局)

目的:神通川水系神通川(富山市葛原地先)で発生した堤防欠損に対して、被災要因の分析を行い、堤防復旧工法等を検討  
委員(国総研):河川研究室長



第1回小田川堤防調査委員会における現地調査の状況(撮影:中国地方整備局)



第2回小田川堤防調査委員会の様子(撮影:中国地方整備局)